

平成22年度 第6回 府中市男女共同参画推進懇談会 議事録

I 日時 平成23年2月17日(木) 午後6時半～8時半

II 場所 女性センター 第1会議室

III 出席

(i) 委員

小西会長、諸橋副会長、原委員、中里委員、四井委員、江田委員、藤田委員、青野委員、明石委員、井沢委員、中嶋委員

(ii) 事務局

赤岩市民活動支援課長補佐、松井男女共同参画推進係長、後藤事務職員

IV 欠席

清水委員

V 傍聴者

なし

VI 会議内容

1 開会

2 前回の議事録の確認

異議なく承認された。

3 配布資料確認

- ・ 資料1 「DV被害者支援のための取組について」報告書(案)
- ・ 資料2 平成22年度府中市男女共同参画計画推進状況評価報告書【重点項目抜粋】(案)

4 報告事項

- (1) 第三者評価について、前回会議で質疑があった事業項目について、担当課より回答があったので、協議事項の中で随時説明をする。

5 協議事項

(1) DV被害者支援のための取組について

ア 配布された資料について、会長が次のとおり説明した。

前回会議で、『DV民間シェルターへの支援の充実』の項目を入れてほしいという意見があったので、4ページ目に加筆した。また、前回配布した資料では、

3 ページ目に『2 DV被害者への対処法』と表記されていたが、『2 DV被害者への支援対策』に変更した。

イ これに対し、各委員が次のとおり質問、意見を述べた。

意見 『DV民間シェルターへの支援の充実』の項目で、「DV被害者の保護にかかる費用は莫大で」とあるが、「莫大」という表現はかなり漠然としている。他に良い表現はないか。

意見 「多額」はどうか。

意見 「膨大」はどうか。

意見 「DV被害者の保護には多額の費用がかかるので、」と表記してはどうか。

意見 「多額」ではなく、「多くの」が良いのではないか。

これらの意見を踏まえて、4 ページ目の『DV民間シェルターへの支援の充実』の「DV被害者の保護にかかる費用は莫大で」の文を、「DV被害者の保護には多くの費用がかかるので」に表記を変更することとした。

(2) 府中市男女共同参画計画推進状況評価報告書・第三者評価について

配布資料について、各委員が各々担当した事業項目を確認することとし、資料確認後、各委員が質問、意見を述べた。

ア 地域安全リーダーの育成（018）について

意見 評価の内容と今後の課題『女性の参加者数が全体の10%にも満たないため』とあるが、前回会議で15%に直したはずである。

イ 子どもに関する相談の充実（085-③）について

質問 数値目標『子育てひろば「ポップコーン」 22年度6か所から26年度11か所を目標』となっているが、どういうことか。

回答 20年度及び21年度の取組と実績には『子育てひろば「ポップコーン」事業等』と表記されており、子育てひろば「ポップコーン」以外にも事業を行っている。それらすべてを含めて、現在29か所あり、中でも子育てひろば「ポップコーン」は現在6か所で、26年度までに11か所に増やす目標である。

意見 わかりづらいので、例えば『子育てひろば「ポップコーン」6か所、その他の事業23か所』等にしてほしい。「ポップコーン」だけあげると来年度以降も間違えやすいので、書き方を工夫してもらいたい。

ウ 子どもに関する相談の充実（085-④）について

補足 評価の内容と今後の課題『相談件数は減っているものの』という文について、相談件数は近年減少傾向にあるそうだが、20年度から21年度に

かけては増えており、紛らわしいため削除した。

また、この事業は『子どもに関する相談の充実』なので、青少年・子ども相談に特化するように、女性問題相談の部分は削除した。

なお、総合評価の判定理由の修正に伴い、総合評価をDからCに変更した。

意見 子どもの問題と女性のDVは深い関わりがあるため、削除してしまうのはどうか。

補足 女性自身に関する相談の充実（083）の事業項目が別にある。

意見 このような相談窓口がどこにあるかを知らしめることが大切だと思う。数値目標は相談人数ではなく、年何回、広報でPRをするのか、パンフレットでどう啓発するのか等が数値目標である。見方を変えないと相談事業の充実化は図れない。

エ 子どもに関する相談の充実（085-⑤）について

補足 前回配布した資料では、22年度計画『継続実施』とだけ記載してあったが、どのような内容かわからないので、担当課から詳細を書いてもらった。

意見 担当課が書いている部分については、誤りがある以外はそのままにしておいたほうが良いのではないかと。

意見 スクールカウンセラーは全中学校に配置されているが、小学校には3校しか配置されていないことについては、平等の観点からも問題である。また、改善策等の提言では、既に全中学校には配置されているので、「全小・中学校に配置することを要望します。」という表記はおかしい。

オ 男女平等教育の推進（088）

補足 担当課は「人権教育推進委員会」と記載しているが、担当委員の書いた「人権尊重教育推進委員会」が正しい。

カ その他

意見 次年度から「数値目標」は、「目標又は数値目標」にしたほうが良い。

意見 計画は予算に繋がる。目標もなくどうやって予算を立てるつもりなのか。真剣に考えてもらいたい。

質問 来年度も第三者評価をするのか。

回答 第三者評価は推進懇談会が第三者評価機関として市長から任命を受けているので、やらなければならないことの一つである。

以上の意見を踏まえて、府中市男女共同参画計画推進状況評価報告書・第三者評価について他に意見等があれば、2月28日（月）までに事務局に連絡することとした。

(3) その他

「府中市女性センターの事業計画及び運営のあり方について」及び「その他男女共同参画のまちづくりに必要な事柄について」、会長から説明があった。

ア 府中市女性センターの事業計画及び運営のあり方について

(ア) 女性センターの名称について

女性センター設立当時は、女性が様々な形で活動する拠点として「女性センター」という名称が付けられたが、現在、女子センターが男女共同参画推進の拠点となっていることもあり、また他自治体の施設は「男女共同参画推進センター」のように名称を変えてきている。このような情勢を受けて、女性センターの名称の変更を提言してはどうか。

イ その他男女共同参画のまちづくりに必要な事柄について

(イ) 男女共同参画条例について

府中市は平成11年に男女共同参画都市宣言をしている。宣言したからには、男女共同参画を推進していくための基本方針を定める「条例」を制定する必要があると考える。

これに対し、次のとおり各委員から意見、質問があった。

質問 協議といっても唐突な気がする。なぜこれらが出されたのかということから説明してほしい。

回答 市長の諮問事項だからである。

意見 前年度の資料があれば、参考にしたい。

意見 ブレインストーミングのようにして、みんなで考えていかないと意見が出しにくいと思う。

意見 男女共同参画条例を作るとして、共同参画というのは男女比が5：5でなくても良いが、平等参画だと男女比が5：5で対等な数を入れられない。府中市の場合、男女共同参画のまちづくりと謳っているが、条例を作るのであれば男女平等参画条例にしないと、いつまで経っても、男女不平等の状態が続くのではないか。「平等」であるか「共同」であるか大きな違いがあると思う。

意見 都は「平等参画」だが、国は「共同参画」という表現を使用している。

意見 本来は私たちが1年間かけてこの2つの議題について話し合いをしていくべきことだと思う。推進状況評価報告書に非常に時間を取られて、実際にやらなければならないことが他にもあるのに全くできなかった。今年度は昨年一度やっているから、進めやすかったが、来年度にまた委員の入れ替えがあるので、時間がかかると思う。私たちは男女共同参画を推進する懇談会であり、より具体的に成果をあげていきたいという気持ちがある。

意見 資料を見直してから、意見を出したほうが効率的なのではないか。

意見 女性センターの実施事業がもう少しわかるように、現状を教えてもらいたい。

以上の意見を踏まえて、府中市女性センターの事業計画及び運営のあり方について及びその他男女共同参画のまちづくりに必要な事柄についての資料を、後日各委員に送付することとした。その資料を参考に各委員は2月28日（月）までに意見を事務局に提出することとした。

ウ 次回の開催日

日時：平成23年3月11日（金）午後6時半～8時半

場所：スクエア21・女性センター 第一会議室

6 閉会